

2020. 8. 24 第2学期始業式（校長挨拶）

みなさん、おはようございます。

例年より短い夏休みでしたが、有意義に過ごせましたか？

今、世の中は新型コロナウイルスで一変しました。私の人生の中でも、このような不安の日々をしかも長い期間経験したことはありません。本来なら東京オリンピックパラリンピックで日本は盛り上がりつつあったはずでした。夏の甲子園、高校総体も中止となり、当たり前の日々のありがたさをこれほど身に染みて感じたことはありません。

新型コロナウイルスは、我々から日常を奪い去りました。本学園の創立者である永島運一先生は「何事も善意に解釈しなさい」とよく我々に話されました。前理事長の永島一郎先生は「辛抱は、朝日待つ間の雪のたけ」という言葉を残されました。現理事長先生は「人間万事塞翁が馬」というお話をされます。いずれの言葉も「今はつらく、厳しい状況だが、いつかは必ず好転する」という意味では共通するところがあり、勇気づけられます。

これまでも人類は様々なウイルスに侵されてきた歴史があります。その都度、人類は、知恵を出し合い難関を乗り越えてきました。明けない夜はない。夜明けは必ず来る。今は、現実をしっかりと受け止め、じっと耐えるしかありません。我々にできることは、感染しないことです。それには、密閉・密集・密接の3密を避け、うがい・手洗い・マスクをすることに尽きます。

どんな長いトンネルも必ず出口はあります。その日まで、みんなで協力してこの苦境を克服していきましょう。

それでは、気持ちを切り替えて、元気に2学期を始めたいと思います。まずは来月初めにある学園祭をみんなの力で成功させましょう。

今年の学園祭は、三密のリスクが回避できないことから残念ながら文化祭を取りやめました。体育祭もリスクのある競技は外し簡素化しました。すべては、生徒のみなさんの安全を最優先した決断であることを理解してください。

よって、今年の学園祭は体育祭のみとなりますが、最上級生の三年生のリーダーシップで盛り上げてもらいたいと思います。今年も全校生徒がお互いに協力して織りなす「感動」を共有しましょう。今年の学園祭のテーマである「Now or Never, Band together!」～今かしかない。一致団結しよう～のテーマのもと最高の思い出になることを願っています。

最後に育てたい生徒像である「基礎、基本を身につけ、将来像をもった明るく活力ある生徒」をめざして、今学期も頑張ってください。

猛暑はまだ続きます。コロナ対策と熱中症対策に留意し、体調には十分気を付けて充実した2学期になることを願って、始業式の挨拶を終わります。